

王

玉



王国つて知ってる？

どこにあるともしれない  
名前さえわからない国

そこでは…

人ならざる者達が皆、  
人のフリをして  
暮らしているの

それでね、そこは  
争いも差別もない  
理想郷みたいな  
場所なんだって

聞いている？

……ッ

面白いわよね  
人マネしてる連中の  
マネが出来ない私たち

……  
あのさ

急に呼び出して  
一体何の話？

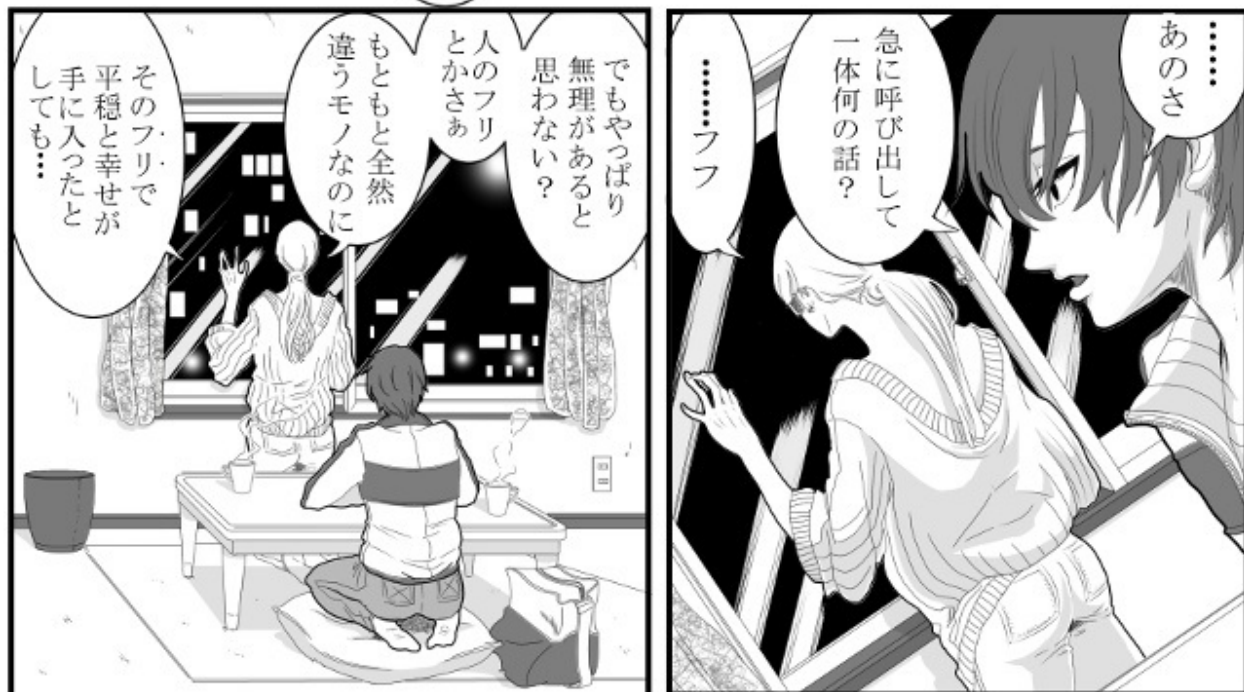
……  
フフ

でもやっぱり  
無理があると  
思わない？

人のフリ  
とかさあ

もともと全然  
違うモノなのに

そのフリで  
平穏と幸せが  
手に入ったと  
しても…





いつかきつと  
満ち足りなくなる

だって  
だって  
それって

本当の自分じゃ  
幸せになれないって  
ことだもの

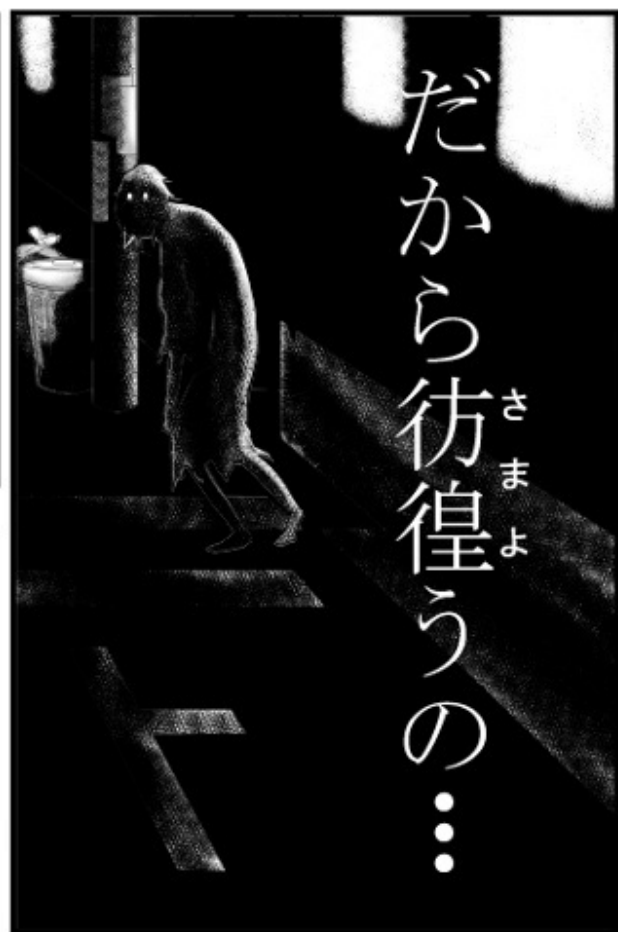


虚しくて

幸せに  
なりたくて



自分が自分で  
いられる場所を  
探して



だから彷徨<sup>さまよ</sup>うの…



彼らは  
王国を捨てて  
私達の世界を  
彷徨ってる

王国では無理だったけど  
「コッチなら自分の  
居場所があるかも」ってね



なんだか  
随分人間臭い  
思考よねえ  
フリでも  
感染るのかしら  
そういうのって

.....



……わざわざ  
呼び出したのって  
そんな話  
するたためなの？

受験生で  
暇じゃないんだけど



今も  
も  
衝をうろ  
つく者達……





あの人は所在なさげに  
街で佇んで……  
道の真ん中にいるのに  
誰も彼に気づかなかつた

「王国から来た」  
と彼は言ったわ

出会って一週間で  
死んでしまったけど……  
まあ、寿命だから  
しょうがないわよね

私だけが  
彼に気付くことが  
出来たの

彼はカゲロウの  
化身だったもの



美しくて……  
儂い虫……



いいかげんに  
してよツツ！



関係ないし…



まともに話す気がないなら  
もう何も聞きたくない！



好きにしなよ！  
自分の人生なんだからさ！  
僕には…



おかしいよ

姉さん

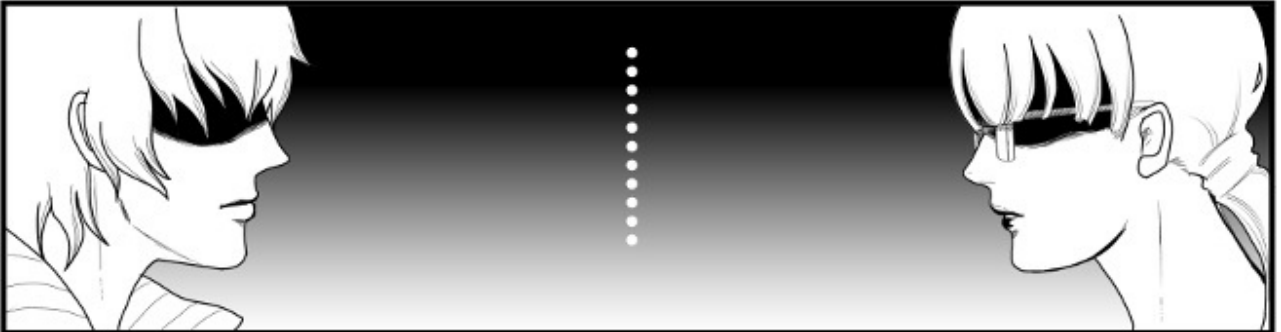


何が王国だよ



変な男に  
引つかかった  
言い訳くらい  
ちゃんと考えてよ







最後に  
一つだけ…





彼らに  
出会ったら  
あなたも…

心の隙間を  
埋めるびつたりの  
パーツが見つかった  
ような…

きつとそんな  
気分になる

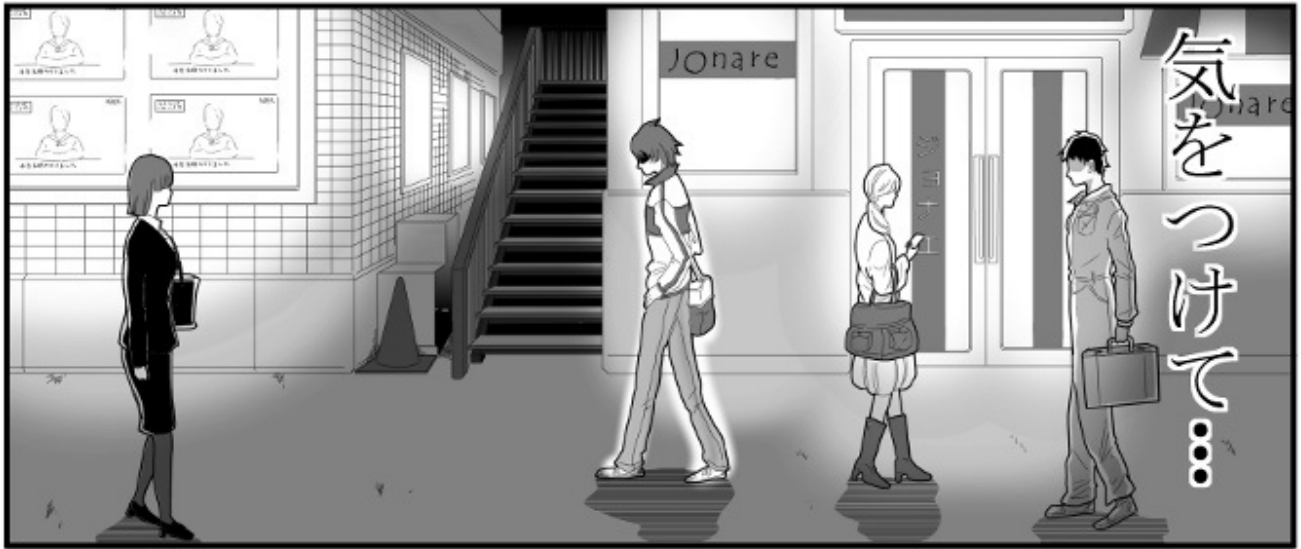


でも  
気をつけて

私たちは  
結局違う  
生き物なの  
だから



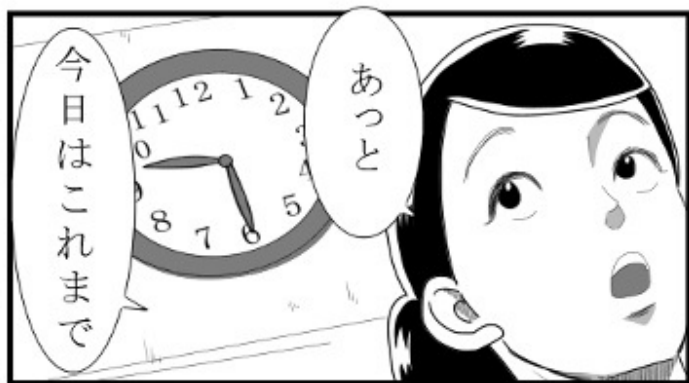
彼らの生まれついで  
の本能が…あなたを  
傷つけるかもしれない



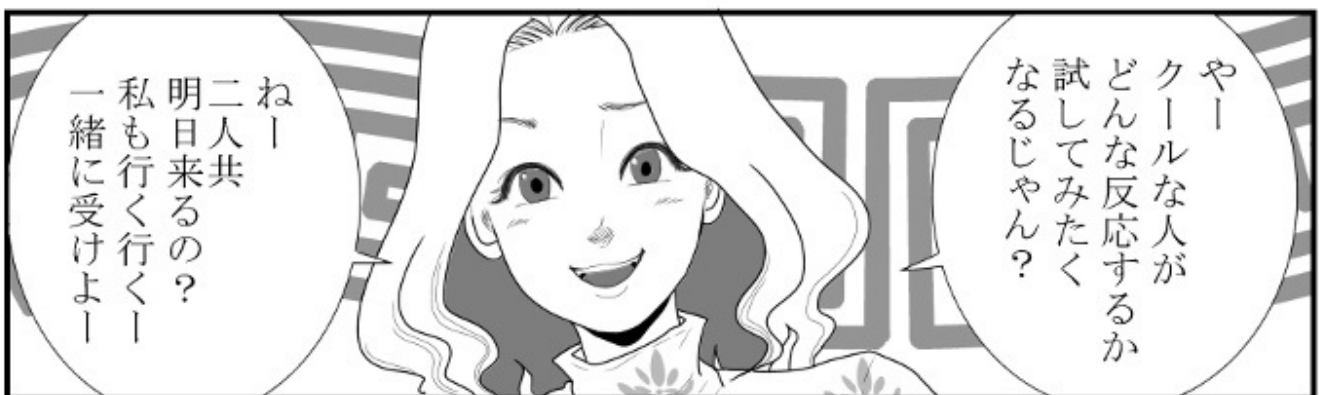
















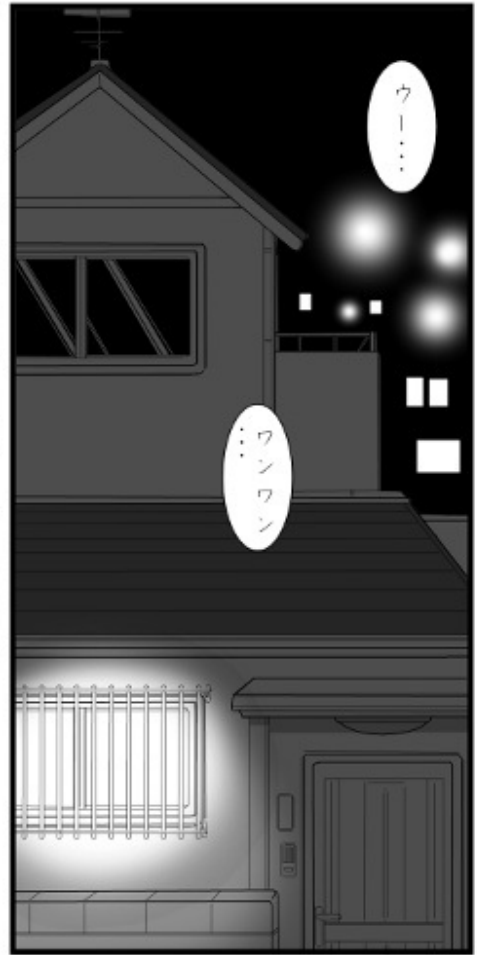
ただいま…

そーそーホント  
やんなつちやう  
わよねえ



馬鹿よねー  
ホントバカ

こつちの都合も  
考えずに勝手  
ばっかりでさあ  
うまくいくわけ  
ないのに、ブフ



ウー…

ワンワン



あー  
なんだ  
帰つてたの？

ご飯ないわよ



第一なんで  
こんな遅いのよ

…何なのよ  
その目  
何か文句  
あるわけ？

ガ  
タッ

そう…



予備校から  
まっすぐ  
帰って来たよ

そんなことは  
どうでも  
いいのよ!

.....

あんたが今  
こうして

暮らしてるのも  
私のおかげよ!

それをねえっ  
食事がなくらいでねえっ



私こんな頑張ってる  
でしょ!!  
なのになんでこの位で...

あ、あの人も、あの子も...

私の何が  
いけないのよ!

私は...  
私は...



あ、あんたは...

わ、わたしのそばに  
いるわよね?  
ずっとそばに  
いるわよね?

あ、あの...人みたいに  
あの子みたいに  
私から離れていかない  
わよね...? ね?

うん...母さん

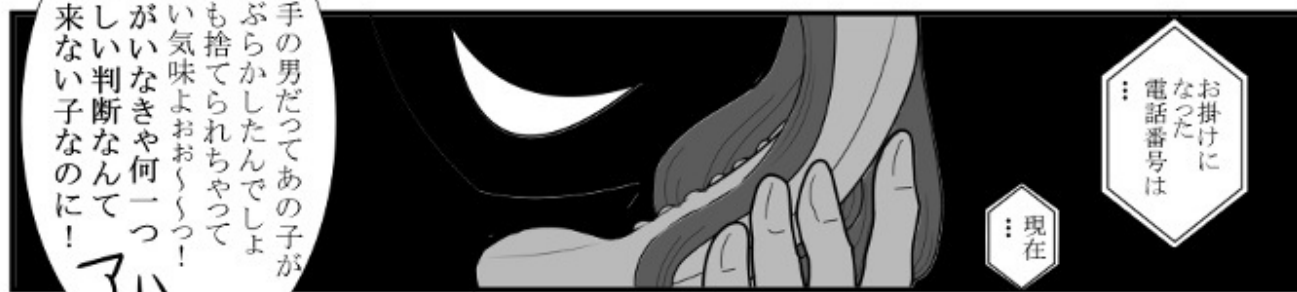


もしもし？  
もしもし？

そうそうあの子ねえ、  
そう、悲しいわよね  
どうして人って  
変わっちゃうかしら？

え？  
知らない  
知らない  
もう関係ない  
もの

そうね…  
本当は昔から違ってた？  
あれがあの子の本性？？  
ずる賢く隠してたのよ  
そうに決まってるわ



お掛けに  
なつた  
電話番号は

現在

相手の男だつてあの子が  
たぶらかしたんでしょ  
でも捨てられちゃつて  
いい気味よおおくつ！  
私がいなきや何一つ  
正しい判断なんて  
出来ない子なのに！  
マハハハ



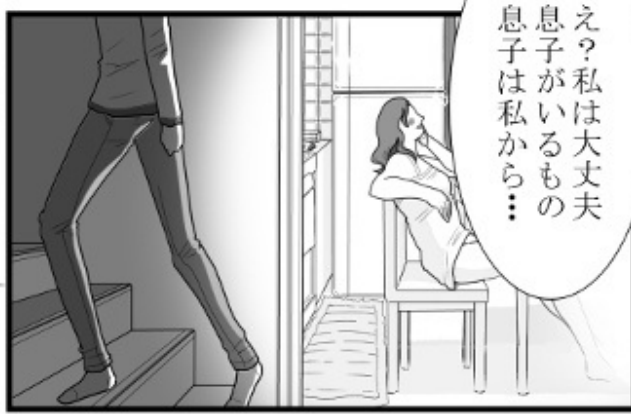
ウンザリすることだつて

人並みにあるさ…

ド"ザッ



大きいお腹抱えて  
どうするつもり  
かしら、アハ…



え？私は大丈夫  
息子がいるもの  
息子は私から…

アッ...

生き難いとか  
居場所がないなんて  
考えたことない

むしろ人より  
うまくやってる方なんじゃ  
ないかな...

ただ...

遠い

学校、友達、母さん、  
生活、社会...  
自分を取り巻く  
色んなものが

薄い膜の向こう側に  
あるみたい感じる

あるのはわかるのに  
触れられない  
だから実感がない

遠いから...  
外側のことだから  
うまくやれてる？

じゃあ、逆に...  
僕は内側のことこそ  
わからないのかな

…こんなことを  
考える日は  
いつも「蛹」の  
話を思い出す

蝶の蛹の  
話だったかな

芋虫は蛹に成ると  
一部の器官を残して  
中身をドロドロに  
溶かしてしまふ

そして成虫の形に  
新たに造り変える

子供の僕は思った  
「ドロドロに溶けた蛹は  
前は芋虫だったことを  
覚えてるのか」

「どうしてこれから  
蝶になるって  
わかるのか」

だってドロドロじゃ  
ないか

前がどうだったとか  
これからどうなるかとか  
どうしてわかる？

母さんも先生も  
「そうなるって決まってるから」  
と言った

でも…僕には  
わからなかった

姉さんだけが…

そうだね  
お姉ちゃんにも  
わからないや

でもね  
わかつてるふりを  
しなきゃ駄目よ

そういうものだって  
思わないとダメ

みんなきれいな  
ちようちよに  
なるって  
思ってるから

それ以外は  
ダメなの

その時  
ハツと  
頭に浮かんだ

「お姉ちゃんと僕は  
さなぎなんだ」





これまでの自分も  
これからの自分も  
わからない

存在してるのに  
不確かな精神

肉体という外殻を  
「自分」と定義して  
いるだけの

中身がドロドロの存在



変わったな姉さん

あんな顔をする人じゃ  
なかった

姉さんはもう  
蛹じゃないんだ



同じ「蛹」の  
姉さんだけが  
僕の仲間で

唯一  
近くに感じられる  
存在だったのに……



姉さんは  
蝶に  
なつたの？

……………  
それとも

それとも……

ダメ、ダメ  
だよ……

言っただろ？  
僕にもう近づいちゃ  
いけないって

僕たちは  
違いすぎるんだ

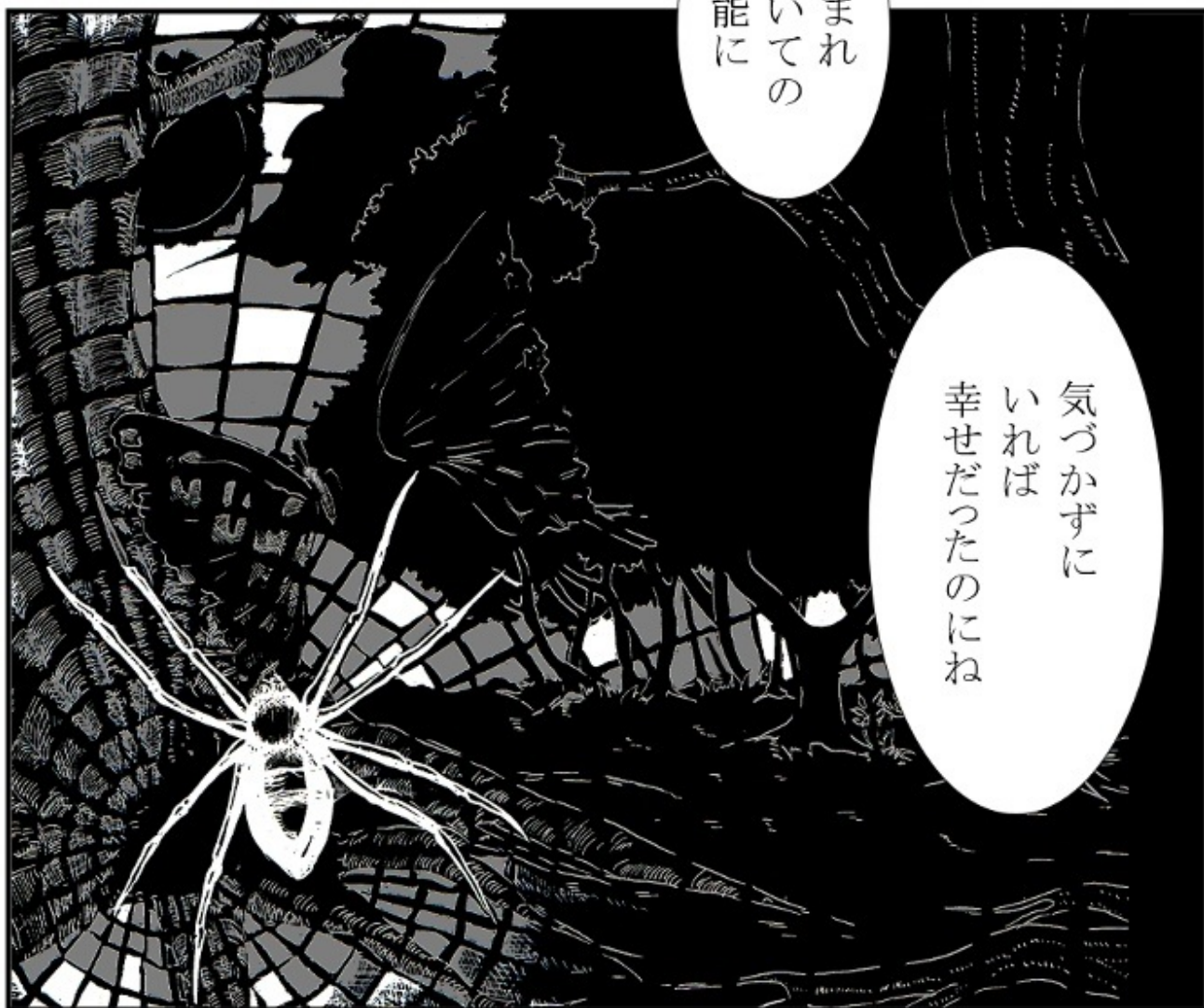
僕の本能は  
君を傷つけて  
しまうから……  
僕は君を、君を

……ッ

ああ……



生まれ  
ついでに  
本能に



気づかずに  
いれば  
幸せだったのにね

「気をつけて…」

私たちは  
結局  
違う生き物  
なのだから」